

地方創生セミナー「インバウンド拡大のための講演会」の開催 ～京都府北部地域の観光活性化サポート～

- ◆ 舞鶴出張所では、管内の地方公共団体や商工会議所等、観光協会を訪問し、**地方創生にかかる隘路等をヒアリング**。
- ◆ 天橋立が所在する「宮津市」からは、**インバウンド拡大や海外提携への有効な施策は何か**について、舟屋の景観を活かした地域活性化を目指す「伊根町商工会」からは、**外国人観光客へのおもてなしノウハウ**について、それぞれ相談があったことから、課題解決に向けた取組を検討。
- ◆ **世界遺産「熊野古道」を舞台にインバウンド拡大に成功しており、以前より交流のあるキーパーソンを講師に招いて、講演会のほか意見交換会、交流会を開催**（平成28年11月8日宮津市・11月9日伊根町）。

1. 成果事例の概要等

(1)課題の把握

○地方公共団体ヒアリングにて、課題事項を聴取したところ次のような課題を抱えていることが判明。

宮津市：インバウンドが伸び悩んでいる。海外向けの情報発信や観光連携協定について、ノウハウがなく困っている。

伊根町：舟屋の景観を活用して観光活性化を図っているが、増え続けるインバウンドへのサービス提供や、海外向け情報発信がよくわからず困っている。

(2)企画概要

- 舞鶴出張所では、これらの課題を解決するため、海外向けの情報発信や観光連携協定に明るい人物を講師として招聘し、講演会と意見交換会を開催することを企画。
- 講師には、NPO熊野本宮理事で、**熊野古道の魅力の世界中に発信し、地域観光活性化に尽力している鳥居泰治氏を招聘**。
- 地方公共団体だけでなく、**多様なステークホルダー（海の京都DMO、観光協会、商工会議所、地域金融機関）の参画を促し、地域連携を発展**。



2. これまでの取組の成果等

1. 講演会 「インバウンド拡大の取組～外国人おもてなし事業～」

〈参加者の感想〉

- インバウンドの拡大には看板のローマ字標記の統一や英語併記など、外国人目線の整備が欠かせないことがわかった。
- 従来の観光パッケージに「ヘルスツーリズム」「森林保全活動」等の付加価値を付けるPR戦略が非常に参考になった。
- 外国人旅行者向けのおもてなしは、地域一体となって対策を講じることが肝要と認識した。



2.意見交換会

〈主な意見交換事項〉

- 観光協定を締結するメリット
- 外国人に対する食事提供で気を付ける点
- 外国人観光客が求める旅行内容
- 地域振興に向けた人手不足の解消法、ガイドの語学力向上に向けた取組

→ 何れも地域のニーズに基づいた、具体的な事例を取り上げることで、参加者の興味関心を惹きつけ、高い評価をいただくことができた。

3. 今後の課題と舞鶴出張所の対応

〈今後の課題〉

- 京都府北部と和歌山県南部という遠隔地の交流が図られたことから、一過性に終わらせることなく、近畿全体の広域連携につなげていくことが肝要。
- 宮津市(天橋立)や伊根町(舟屋)と田辺市(熊野古道)の交流が深まり、インバウンドで連携するなど、観光活性化につなげることが必要。

〈舞鶴出張所の今後の対応〉

- 伊根町が熊野古道(田辺市、新宮市)を視察する際の橋渡し(セッティング)を実施。
- 宮津市の観光振興への取組についても、引き続き後方支援していく。